

高等教育における実習を伴う教育の現状と課題

12108120 星野 晴香

【研究の背景】



伝統工芸や農業における後継者不足
外国人労働者の増加



伝統工芸や農業における後継者
積極的に野外で活動することのできる人材 } の育成が必要

野外での活動を積極的に行っている人材の背景(過去の体験や生活環境など)を調査し同様の体験を環境教育活動のプログラムに組み込むことで人材の育成に繋げることが可能となる

【研究の目的】

実習を伴う科目や野外での活動に積極的に参加する学生・消極的な学生それぞれの背景(過去の体験や生活環境など)を調査する
(※本研究では実習を伴う科目として主にフィールド実習(富士)を対象とする)

【調査方法および今後の展望】

フィールド実習(富士)参加者および非参加者を対象にアンケート調査

- ①8/4 ~ 8/7
 - ②8/31 ~ 9/3
 - ③9/7 ~ 9/10
 - ④生物環境工学科1~3年生を対象に授業内アンケート
(非参加者のデータを得るために実施)
- 各日程での参加者にアンケート実施

研究室員へのアンケート調査



アンケートは各1回ずつ
実施予定

今後はフィールド実習への参加・アンケートの作成および配布を行う